

バスラ日誌（5月31日）

1 イラク新政府は、治安の悪化を懸念してバスラへ高官を派遣する予定という新聞報道は承知していたが、本日午前中、新政府首相自らバスラ入りし、県知事との会談に臨んでいると聞いた。会談の内容等については、また報道されるだろうが、残念ながら多国籍軍側との接触はほとんどないという。5月1日の部隊交代に伴う指揮転移後だけで英軍殉戦者が9名となり、多国籍軍側とイラク治安部隊との連携も一層必要とされる時期であるだけに、首相の来訪には意義があると思われるが、多国籍軍指揮官との会談が計画されないところに、一抹の不安は残る。

2 昨日バスラに到着した通信整備関係者は、昨日中に任務を完了し、士気旺盛である。他に何か困っていることがあれば、何でもやりますよと言ってくれているので、写らなくなったテレビの修理や不要品のサマワへの搬送等、いろいろなことをお願いしている。ヘリ移動については、例によって困難を極め、31日の0230（深夜）、それも1人だけ、それもタリルへだったら運べると言われた。さすがに、これを受けるわけにはいかないので、丁重にお断りした。この話をしたら、通信班が「私が行くことになってたでしょうね?」と言うので、『LO班全員一致で、私が行くことになるだろうという結論に達していた。』という笑っていた。31日の移動はできなくなったが、次に第2次移動大作戦を1日から2日にかけて実施する予定である。まず、0400行動開始、0500バスラエア・ターミナル陣地占領、0700英軍C-130によりタリルへ、0750タリル陣地占領。あとは当たって砕けろ!ではなくて、ちゃんと宿泊要領及びヘリ搭乗手続き等を説明し、作成の「手続き時の英会話集」を渡してある。重たい箱を3つも抱えて、不慣れな土地で1泊するわけで、こちらとしても心苦しいが、今のところ2日のヘリも確定したわけではなく、の方には『頑張ってください。』というしかない。ヘリの調整は最大限努力したいと考えている。サマワに着いたら暖かく迎えてあげて欲しい。特にには、かなり職務を肩代わりして頂いているようで、みんな気にしていた。よろしく。

3 本日快晴。バスラ8名、極めて健康。